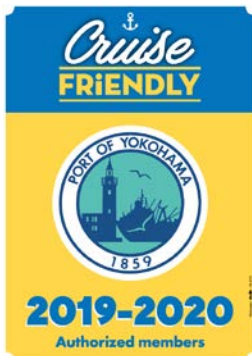


クルーズ旅客等の市内回遊を促進するため 「クルーズ・フレンドリー・プログラム」を横浜で開始！ ～アジアでは横浜港が初の実施～



「クルーズ・フレンドリー・プログラム」ロゴ

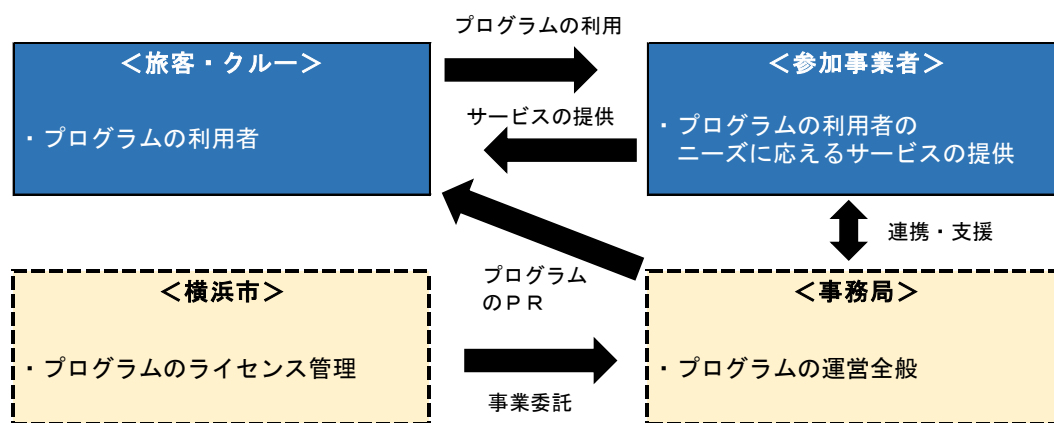
横浜市では、外国客船の訪日クルーズ旅客やクルーの横浜市内での回遊をさらに促進し、観光消費を高めるため、新たに「クルーズ・フレンドリー・プログラム」を開始します。

本プログラムの実施にあたり、南フランス・ヴァール県のヴァール県商工会議所とライセンス契約を本日（10月11日）締結しました。

1 プログラムの概要

横浜港は国内有数のクルーズ拠点として、多くのクルーズ客船が寄港し、寄港数も年々増加しています。これに伴い、横浜港を利用する外国客船の訪日クルーズ旅客やクルーの数も増加しています。クルーズ旅客等の市内での回遊と観光消費を促進するため、「クルーズ・フレンドリー・プログラム」を立ち上げました。

本プログラムでは、横浜港周辺の参加事業者（観光施設、飲食店、物販店等）と横浜市が連携し、地域が一体となってクルーズ旅客等を市内に誘引するため、以下のとおり関係者が連携を図ります。



(1) 参加事業者数（※詳細は別紙参照）

126 者（うち、商業施設 5 者、観光施設 7 者、飲食店 64 者、物販店 46 者、交通事業者 1 者、その他 3 者）

(2) ターゲット

横浜港に寄港する外国客船を利用する訪日クルーズ旅客及びクルー

(3) 実施期間

令和元年 10 月 11 日～令和 2 年 3 月末（令和 2 年度以降も継続して実施予定）

(4) 実施回数（※詳細は別紙参照）

約 30 回を予定

(5) 実施エリア

客船ターミナル（大さん橋、新港）及び桜木町駅（シャトルバス発着所）周辺のエリア（中区、西区等）

2 プログラムのプロモーション

以下のとおりプロモーションを行うことで、旅客やクルーによるプログラムの利用を促進します。

- ・客船ターミナル内でのプログラムマップ配布や YOKOHAMA TRAVEL GUIDE（アプリ）、専用ウェブサイト（後日開設予定）、SNS による情報発信
- ・船社の協力下での船内での告知
- ・参加事業者の施設・店舗等でのプログラムロゴの掲出

<制作物>



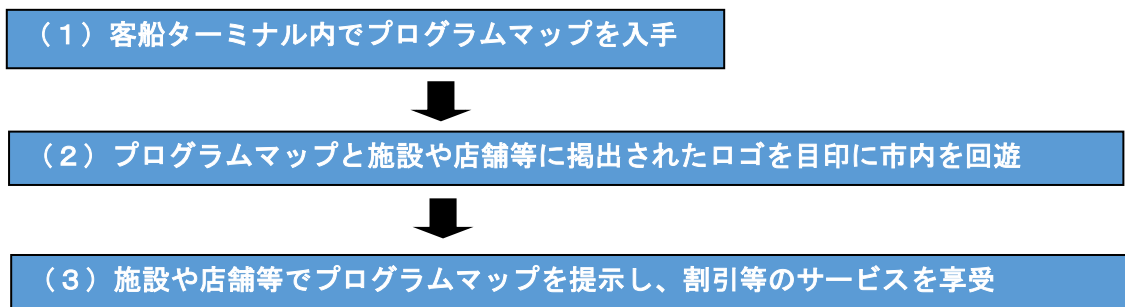
←プログラムマップ



ロゴプレート→
(店舗入口等の目立つ位置に掲出)

3 プログラムの利用の流れ

旅客やクルーがプログラムを利用する際の流れは、以下のとおりです。



4 その他

本日午前（10月11日）に行われたライセンス契約締結式の写真データを希望されるメディアの方は、お問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先				
【本プログラムについて】	文化観光局観光振興課	集客推進担当課長	鳥丸 雅司	Tel 045-671-4232
【クルーズについて】	港湾局客船事業推進課	担当課長	荻原 浩二	Tel 045-671-3870